

●金 祥洙（キム サンスウ）

東国大学 法学部 助教授

1962年生まれ。高麗大学法学部卒業。名古屋大学大学院法学研究科博士課程修了。名古屋大学法学博士。名古屋大学法学部助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「日米比較・民事訴訟法—当事者行為論をめぐって—」（商事法務研究会（380頁）、1995年10月）、「オーストラリアの民事司法」（信山社（157頁）、1997年）、「証券仲裁」（信山社（170頁）、1997年）

●羽森 茂之（はもり しげゆき）

神戸大学 経済学部 助教授

1959年生まれ。米国デューク大学大学院博士課程修了、Ph. D. 取得。

<主な著書・論文>

「消費者行動と日本の資産市場」（東洋経済新報社、1996年）、The Business Cycles in Post War Japan : An Empirical Approach, NOVA Science Publishers Inc, 1997

●羽森 直子（はもり なおこ）

流通科学大学 情報学部 教授

1958年生まれ。神戸大学大学院経済学研究科博士課程修了。名古屋大学経済学博士。

<主な著書・論文>

「ドイツの金融システムと金融政策」（中央経済社、1998年）

●丸山 雅夫（まるやま まさお）

南山大学 法学部 教授

1951年生まれ。上智大学大学院法学研究科博士課程満期退学。小樽商科大学商学部助教授。上智大学法学博士。南山大学法学部助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「集金人による金員領得と横領罪、詐欺罪」（『商学研究』36巻4号、1986年3月）、「三角詐欺」（『警察研究』59巻7号、1988年7月）、「財産的制裁としての没収・追徴(1)、(2)」（『南山法学』17巻1号、1993年7月、17巻2号、1993年9月）

●辰巳 憲一（たつみ けんいち）

学習院大学 経済学部 教授

1947年生まれ。大阪大学経済学部卒業。ペンシルベニア大学大学院卒業、Ph. D. 取得。
東京経済大学助教授、教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「積極的な株式投資戦略の一理論とその実証」(『フィナンシャル・レビュー』1993年3月)、「最新投資戦略解剖」(『週間ダイヤモンド』1994年9月10日～10月1日)、「ゼミナール デリバティブと新金融商品の数学ー基本と応用」(東洋経済新報社、1995年)

● 榑 道守 (いのり みちもり)

日本経済新聞社 データバンク局 局長付研究委員

1941年生まれ。和歌山大学経済学部卒業。日本経済新聞社データバンク局コンサルタント、日本公社債研究所営業本部副本部長を経て現職。

<主な著書・論文>

「ニューラルネットワーク・ソフトウェアによる非線型推定比較」(『学習院大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー』、1997年9月)

● 芝崎 希美夫 (しばさき きみお)

酪農学園大学 食品流通学科 教授

1940年生まれ。専修大学大学院経済学研究科修了。社団法人食品需給研究センター入社。主任研究員、調査部長、企画部長、常勤理事を経て現職。

<主な著書・論文>

「食の未来」(日本経済新聞社、1989年6月)、「変貌する食品流通」(共著：日本実業出版社、1995年5月)、「低下する自給率、活性化する『食』ビジネス」(『商工ジャーナル』(日本商工経済研究所)、1997年7月)

● 田村 馨 (たむら かおる)

福岡大学 商学部 教授

1954年生まれ。北海道大学農学部卒業。農林水産省農業総合研究所主任研究官。日本総合研究所主任研究員。福岡大学商学部助教授を経て現職。学術博士(広島大学)

<主な著書・論文>

「農業と農政の経済分析」(共著：大明社、1996年)、「集客モードの時代」(共著：中央経済社、1999年)、「流通多元化と生鮮品購買行動のフロンティア」(生活共同組合研究1999-7、1999年)

● 廣政 幸生 (ひろまさ ゆきお)

明治大学 農学部 助教授

1955年生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了。農学博士。

<主な著書・論文>

「農業と農政の経済分析」(編著：大明堂、1996年)、「開発と自立の地域戦略」(共著：中央経済社、1997年)、「農村アメニティの創造に向けて」(共著：大明堂、1999年)

●尾崎 亨(おざき とおる)

酪農学園大学 食品流通学科 講師。

1959年生まれ。日本大学大学院農学研究科修了。農学博士。

<主な著書・論文>

「日本物流年間」(共著：93年、94年)、「生協の大型化と産直産地の対応に関する研究」(『酪農学園大学紀要』1996年2月)

●深澤 史樹(ふかざわ ふみき)

酪農学園大学 食品流通学科 講師

1964年生まれ。北海道大学大学院環境科学研究科修了。

<主な著書・論文>

「観光立国からの問題提起ーリゾート開発・環境保全そして地域再生ー」(共著：青山社、1993年)、「環境保全型農業論」(共著：農林統計協会、1996年2月)

●吉井 邦恒(よしい くにひさ)

農林水産省農業総合研究所 経済政策部政策研究室長

1958年生まれ。東京大学経済学部経済学科卒業。農林水産省入省。人事院行政官国内研究官として埼玉大学大学院へ留学。農林水産大臣官房企画官。農林水産省経済局保険管理課課長補佐(総括)を経て現職。

<主な著書・論文>

「農業収入保険制度への接近ーカナダのGRIPを事例としてー」(『農業総合研究』(農業総合研究所)第50巻第3号、1996年7月)、「市場指向型農業政策と農業者の所得安定」(『農林経済』(時事通信社)第8977号、1997年2月)、「生産者のリスク管理のための選択肢」(『のびゆく農業』(農政調査委員会)第868号、1997年7月)

●吉田 泰治(よしだ やすひろ)

農林水産省農業総合研究所 経済政策部上席研究官

1948年生まれ。東京教育大学理学部卒業。農林水産省入省。筑波大学出向(文部教官)を経て現職。

<主な著書・論文>

「豚肉先物取引に関する Price-Formula の策定」(前橋乾繭取引所、1993年)、「価格変動のヘッジに高いニーズ」(『農林経済』(時事通信社)、1993年)、「食品産業の将来展

望」(『産業連関』(環太平洋産業連関学会)第6巻第4号、1996年)

●飯原 慶雄 (いいはら よしお)

東洋大学 教授

1932年生まれ。神戸大学大学院修士課程修了。富山大学助手。南山大学助教授、教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「株式市場とオプション取引」(中央経済社、1989年)、「投資決定基準の検討」(『南山経営研究』1997年10月)

●加藤 英明 (かとう ひであき)

南山大学 経営学部 教授

1950年生まれ。ユタ大学経営大学院博士課程修了、Ph. D. 取得。南山大学経営学部教授。トロント大学経営大学院客員教授。ユタ大学経営大学院客員教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「価格変動とアマノリー (加藤 清著・181ページ)」(日本経済新聞社、1990年)、「Intraday Return Dynamics between the Cash and the Futures Markets in Japan”, with Yoshio Iihara and Toshifumi Tokunaga. *Journal of Futures Markets*, vol.16 no.2 1996. “Voluntary Dividend Announcements in Japan”, *Pacific Basin Finance Journal*, vol.5 no.2/3 1997

●徳永 俊史 (とくなが としふみ)

MTVインベストメントテクノロジー研究所 研究員

1965年生まれ。1991年南山大学大学院修士課程修了。南山大学経営学博士号取得。

<主な著書・論文>

「外国人投資家による持株比率の変化と株価変動」(『南山経営研究』1998年12月)、「Habit Formation and Durability in Consumption : Some Evidence from Income Quintile Group in Japan, *Applied Economics Letters*, 1999

●辻 幸恵 (つじ ゆきえ)

京都学園大学 経営学部 専任講師

1962年生まれ。神戸大学大学院経営学研究科修了。私立武庫川女子大学大学院家政学研究科修了(博士・家政学)。

<主な著書・論文>

「ブランドと日本人—被服におけるマーケティングと消費者行動—」(白桃書房、1998年)、「The Relative Use of Distribution on Channels in The Japanese Clothing

Market」, Journal of Fashion Marketing & Management, MANCHESTER METROPOLITAN UNIVERSITY, pp159 - 168.

●神木 良三（かみき りょうぞう）

大阪商業大学 商学部 教授

1931年生まれ。大阪外国語大学卒業。大阪証券取引所入所。大阪商業大学助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「証券上場理論の展開」（晃洋書房、1994年）、「新・証券取引ハンドブック」（分担執筆：ダイヤモンド社、1994年）、「入門 先物・オプション」（共著：東洋経済新報社、1995年）、「入門 金融取引」（共著：晃洋書房、1998年）

●伊藤 史朗（いとう しろろう）

同志社大学 名誉教授

1926年生まれ。京都大学大学院退学。同志社大学経済学部専任講師、助教授、教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「日本の経済発展と金融」（晃洋書房、1997年）、「価格と取引高－商品先物市場の計量分析」（『経済学論叢』（同志社大学）第50巻3号）

●廣江 満郎（ひろえ みつお）

関西大学 経済学部 教授

1949年生まれ。同志社大学大学院経済学研究科単位取得退学。大阪商業大学教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「東京工業品取引所貴金属市場に関する実証的研究」（『先物取引研究』第2巻第2号、1996年3月）、「金融経済と金融政策」（三和書房、1998年）、「入門 金融取引」（共著：晃洋書房、1998年）

●八田 英二（はった えいじ）

同志社大学 経済学部 教授

1949年生まれ。カリフォルニア大学大学院バークレー校経済学研究科博士課程修了。同志社大学経済学部助教授を経て現職。1998年同志社大学学長。

<主な著書・論文>

「広告と市場競争」（有斐閣、1981年）、「寡占産業の経済学」（共編：勁草書房、1989年）、「what's 経済学」（共著：有斐閣、1996年）、「日本経済を見る眼」（共著：晃洋書房、1998年）

●佐竹 光彦（さたけ みつひこ）

龍谷大学 経済学部 助教授

1955年生まれ。同志社大学大学院経済学研究科単位取得退学。大阪商業大学助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「日本における景気循環の周期と変動要因の周期と変動要因の統計的分析」（『大阪商業大学論集』96号、1993年6月）、「名目金利によるインフレ予測について」（『経済学論叢』（同志社大学）48巻3号、1997年3月）

●北川 雅章（きたがわ まさあき）

同志社大学 経済学部 教授

1959年生まれ。同志社大学大学院経済学研究科単位取得退学。龍谷大学経済学部専任講師。同志社大学経済学部助教授を経て現職。

<主な著書・論文>

「中間目標政策と金融構造」（『季刊理論経済学』38巻3号、1987年9月）、「金融政策の『操作目標』のコントロール可能性」（『経済学論叢』（同志社大学）48巻3号、1997年3月）

●南波 浩史（なんば ひろし）

滋賀女子短期大学 専任講師

1970年生まれ。同志社大学大学院経済学研究科単位取得退学。

<主な著書・論文>

「誤差修正VARモデルによる金融政策の計量分析」（『経済学論叢』（同志社大学）49巻4号、1998年3月）、「日本における貨幣の中立性テスト」（『経済学論叢』（同志社大学）50巻2号、1998年9月）、「郵便貯金需要関数に関する計量分析」（『滋賀女子短期大学研究紀要』第24号、1999年2月）、「金融および実体経済変数の因果性検定」（『現代日本の金融システム』所収、1999年8月）